

式次第 令和五年十二月二十四日(日)

1 品川神社様よりお祓い(全員参加) 9時50分

2 開会宣言 10時

オープニングシャンソン(地元歌手)石川光子様

3 主催者挨拶

NPOなすびの花理事長 大塚好雄氏

4 来賓挨拶 10時20分

品川区長 森澤恭子様

江戸東京伝統野菜研究会 会長 大竹道茂様

品川第一地区町会・自治連合会 会長 金子正秀様

品川区教育委員会 教育長 伊崎みゆき様

来賓紹介

5 審査開始

(当日、主催者の指名による審査員5名)

6 江戸を食する《品川汁、串カツ、葱焼き》(無料)

7 和太鼓演奏 大元組様 11時

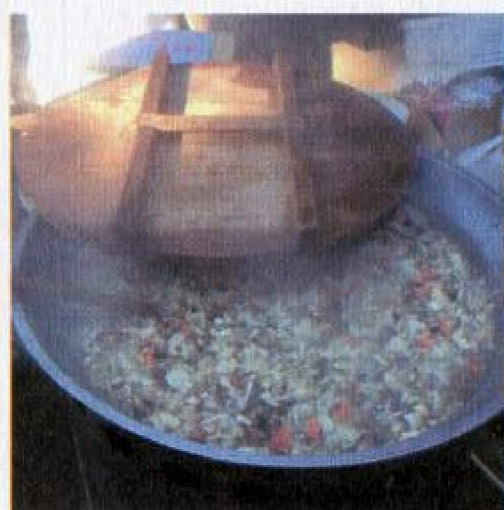
8 歌唱 スペシャルゲスト 田代美代子様 11時30分

9 審査発表・表彰式 12時

10 閉会 12時30分

NPOなすびの花事務局長 戸川五郎氏

(東品川一・三町会長)



品川汁



品川蕪品評会

in 品川神社

令和五年十二月二十四日（日）

品川蕪は、文化元年（1804年）、農事などについて編纂させた博物誌『形成図説』に描かれ、品川宿を代表する野菜だったと推測されます。江戸開府以前から品川は存在していますが、品川蕪の品川への入植経路は諸説あり定かではありません。

江戸時代には少しずつ消えていった野菜の一つで、昭和初期頃までは少々ながら存在していたようですが、戦前には完全に消えてしまいました。

近年の江戸野菜復活の動きに伴い、2006年より品川蕪の痕跡を探し始め、2年後の2008年、見事品川に復活をもたらしました。現在では農地を全て無くした品川区ではありますが、地元小学校とともに食育活動の一環として、現在「品川区内に農地」を合言葉に児童たちと小さな校内の畑やプランターを使い品川蕪の栽培を続けています。



特定非営利活動法人
東海道品川宿なすびの花
理事長 大塚 好雄

品川藥

品川蕪品評会の道のり

品川蕪の収穫を祝おう!

2006年、品川蕪をはじめとした江戸東京野菜復活の声を聞き、復興への活動に参加してきました。品川伝統野菜復活に尽力し、品川蕪食育活動も15年越しとなります。

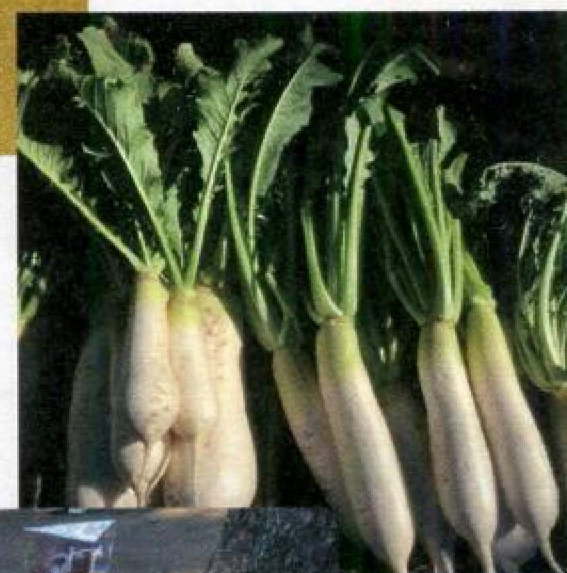
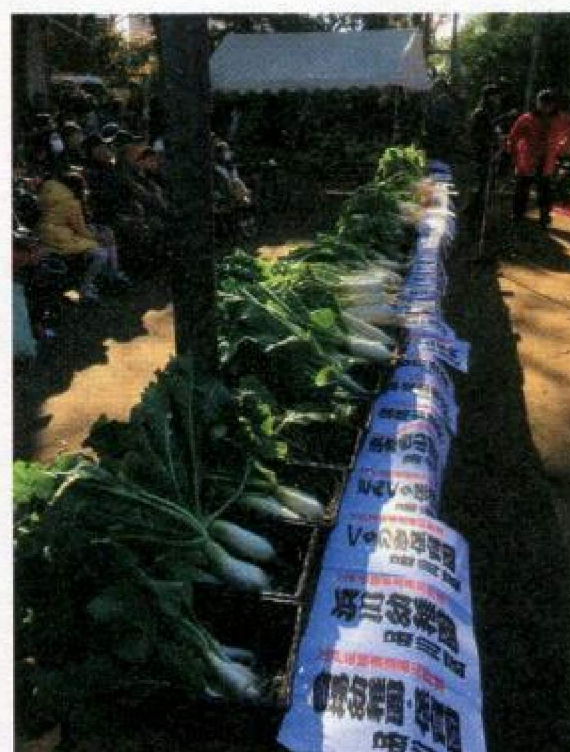
地元小中学校や保育園、幼稚園、児童センター、区民農園などに種子を配布し、生育指導などを行ってきた品川蕪普及活動も、現在では区内30以上の小学校が参加し、品川蕪品評会は、1年を締めくくる暮れの風物詩となっています。おかげで品川蕪もすっかり定着し、地元商店とともに商品化を進め、多くの方が食する機会も増えています。

これも関係者みなさま方のおかげと、この場を借りて感謝申し上げます。

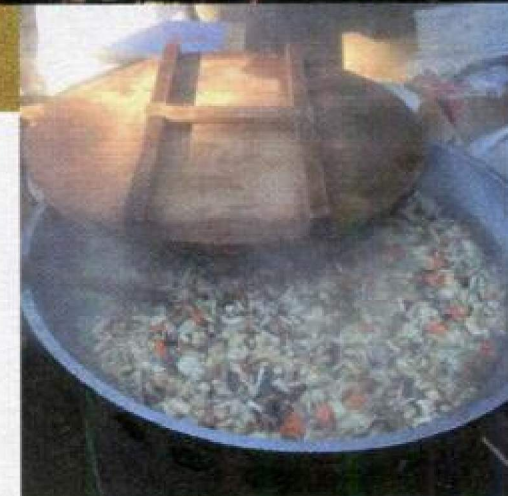
**主催：特定非営利活動法人 東海道品川宿なすびの花
(NPOなすびの花)**

**協賛：品川区
(有)マルダイ大塚好雄商店
品川法人会女性部会
fun fun スクール実行委員会**

**協力：品川区学校地域コーディネーター
旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会
品川神社**



小学生によるプレゼンテーション



品川汁

